

【表紙】

| | |
|------------|--------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 近畿財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年11月8日 |
| 【四半期会計期間】 | 第149期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日） |
| 【会社名】 | S P K株式会社 |
| 【英訳名】 | SPK CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 沖 恭一郎 |
| 【本店の所在の場所】 | 大阪市福島区福島五丁目5番4号 |
| 【電話番号】 | 06（6454）2002 |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役管理本部長 藤井 修二 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 大阪市福島区福島五丁目5番4号 |
| 【電話番号】 | 06（6454）2002 |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役管理本部長 藤井 修二 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第148期 第2四半期連結 累計期間 | 第149期 第2四半期連結 累計期間 | 第148期 |
|----------------------------|------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | | 自2018年 4月1日 至2018年 9月30日 | 自2019年 4月1日 至2019年 9月30日 | 自2018年 4月1日 至2019年 3月31日 |
| 売上高 | (千円) | 20,991,775 | 21,881,678 | 42,885,129 |
| 経常利益 | (千円) | 868,572 | 988,083 | 1,918,623 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 | (千円) | 584,229 | 924,899 | 1,421,031 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 637,693 | 902,109 | 1,386,141 |
| 純資産額 | (千円) | 16,142,565 | 17,456,572 | 16,725,315 |
| 総資産額 | (千円) | 23,827,684 | 25,516,673 | 25,085,914 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 | (円) | 116.35 | 184.20 | 283.01 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 | (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 | (%) | 67.7 | 68.4 | 66.7 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 760,706 | 824,650 | 1,096,389 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 359,532 | 283,267 | 93,275 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 132,511 | 161,814 | 260,717 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 | (千円) | 4,380,089 | 5,788,245 | 4,851,391 |

| 回次 | | 第148期 第2四半期連結 会計期間 | 第149期 第2四半期連結 会計期間 |
|-------------|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | | 自2018年 7月1日 至2018年 9月30日 | 自2019年 7月1日 至2019年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益 | (円) | 71.77 | 127.33 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は255億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億30百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産が212億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億26百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加9億36百万円と、たな卸資産の減少3億6百万円、受取手形及び売掛金の減少73百万円、及び電子記録債権の減少1億14百万円によるものです。

固定資産は43億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して4百万円の増加となりました。これは主に建物及び構築物の増加1億7百万円、及び投資有価証券の減少1億2百万円によるものです。

負債の部では、流動負債が69億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億89百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少1億95百万円によるものです。

固定負債は11億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億10百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少95百万円によるものです。

純資産合計は174億56百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億31百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は68.4%となりました。

経営成績

当社グループ（当社及び連結子会社）の当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高218億81百万円（前年同期比4.2%増加）、営業利益9億93百万円（同12.7%増加）、経常利益9億88百万円（同13.8%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億24百万円（同58.3%増加）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりです。

（国内営業本部）

国内営業本部は、従来からの自動車の機能部品・消耗部品の販売を徹底するとともに、環境に適した新規商材の開発・販売に努めてきました。また、消費税増税前の車検整備の駆け込み需要も増収に寄与したと考えられます。その結果、売上高は127億87百万円となり、前年同期比で6.9%の増収となりました。

（海外営業本部）

海外営業本部は、ロシア及び中南米向け輸出が落ち込みましたが、アジア及び北米向け輸出は好調に推移しました。その結果、売上高は65億98百万円となり、前年同期比で3.7%の増収となりました。

（工機営業本部）

工機営業本部は、年初よりの産業車輛市場の減速が継続、深刻化したこと、特に米国や中国の物流減により販売の多くを占める産業車輛メーカー顧客の減産と在庫引締めがありました。その結果、売上高は24億96百万円となり、前年同期比で6.2%の減収となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下（資金）という。）は前連結会計年度末と比べ9億36百万円増加（前年同四半期は2億62百万円増加）し、57億88百万円（前年同四半期末は43億80百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は8億24百万円（前年同四半期は7億60百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上額13億43百万円、及び売上債権の減少1億24百万円による資金増加の一方、投資有価証券売却益3億55百万円、法人税等の支払額3億67百万円による資金減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は2億83百万円(前年同四半期は3億59百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億68百万円と投資有価証券の売却による収入4億31百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1億61百万円(前年同四半期は1億32百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額1億70百万円によるものです。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

記載すべき事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 22,000,000 |
| 計 | 22,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (2019年11月8日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 5,226,900 | 5,226,900 | 東京証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 5,226,900 | 5,226,900 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数 増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金 残高(千円) |
|--------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 2019年7月1日～ 2019年9月30日 | - | 5,226,900 | - | 898,591 | - | 961,044 |

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%) |
|---|--|---------------|---|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 東京都港区浜松町2-11-3 | 506 | 10.10 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 東京都中央区晴海1-8-11 | 452 | 9.01 |
| RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店) | 7TH FLOOR, 155 WELLINGTON STREET WEST TORONTO, ONTARIO, CANADA, M5V3L3 (東京都新宿区新宿6-27-30) | 254 | 5.08 |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行) | 245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内2-7-1) | 251 | 5.00 |
| S P K社員持株会 | 大阪市福島区福島5-5-4 | 247 | 4.93 |
| 渡部 和子 | 大阪市城東区 | 151 | 3.01 |
| 日本生命保険相互会社 | 東京都千代田区丸の内1-6-6 | 116 | 2.32 |
| スタンレー電気株式会社 | 東京都目黒区中目黒2-9-13 | 100 | 1.99 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 東京都千代田区丸の内1-4-5 | 82 | 1.63 |
| ミヤコ自動車工業株式会社 | 東京都港区西新橋2-13-6 | 66 | 1.31 |
| 計 | - | 2,228 | 44.38 |

(注) 1. 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式は次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 506千株

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 452千株

2. 上記のほか、自己株式が205千株あります。

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2019年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 205,800 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 5,015,600 | 50,156 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 5,500 | - | - |
| 発行済株式総数 | 5,226,900 | - | - |
| 総株式の議決権 | - | 50,156 | - |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| S P K株式会社 | 大阪市福島区福島 5丁目5番4号 | 205,800 | - | 205,800 | 3.94 |
| 計 | - | 205,800 | - | 205,800 | 3.94 |

(注) 当第2四半期末現在(2019年9月30日現在)の自己株式数・・・205,856株

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表については、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,950,528 | 5,887,387 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,594,572 | 8,520,898 |
| 電子記録債権 | 1,499,607 | 1,385,458 |
| たな卸資産 | 3 4,930,049 | 3 4,623,460 |
| 未収入金 | 524,301 | 379,574 |
| その他 | 302,733 | 428,414 |
| 貸倒引当金 | 13,331 | 10,677 |
| 流動資産合計 | 20,788,460 | 21,214,516 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 865,414 | 973,381 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 74,129 | 67,681 |
| 土地 | 1,893,072 | 1,893,072 |
| リース資産（純額） | 29,506 | 28,828 |
| その他（純額） | 48,590 | 77,619 |
| 有形固定資産合計 | 2,910,714 | 3,040,583 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 25,111 | 22,138 |
| リース資産 | 135,969 | 107,958 |
| その他 | 28,519 | 23,210 |
| 無形固定資産合計 | 189,600 | 153,307 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 425,709 | 323,283 |
| 繰延税金資産 | 198,993 | 204,589 |
| その他 | 582,531 | 590,314 |
| 貸倒引当金 | 10,095 | 9,922 |
| 投資その他の資産合計 | 1,197,138 | 1,108,265 |
| 固定資産合計 | 4,297,453 | 4,302,156 |
| 資産合計 | 25,085,914 | 25,516,673 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,560,204 | 4,364,332 |
| 短期借入金 | 870,061 | 980,276 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 381,588 | 392,068 |
| 未払法人税等 | 348,875 | 405,368 |
| 賞与引当金 | 219,194 | 233,340 |
| その他 | 753,667 | 568,547 |
| 流動負債合計 | 7,133,592 | 6,943,933 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 554,070 | 458,818 |
| 退職給付に係る負債 | 446,966 | 452,732 |
| 長期預り保証金 | 80,009 | 85,913 |
| 長期未払金 | 23,528 | 20,795 |
| その他 | 122,432 | 97,908 |
| 固定負債合計 | 1,227,006 | 1,116,167 |
| 負債合計 | 8,360,598 | 8,060,101 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 898,591 | 898,591 |
| 資本剰余金 | 961,044 | 961,044 |
| 利益剰余金 | 15,136,411 | 15,890,594 |
| 自己株式 | 435,365 | 435,500 |
| 株主資本合計 | 16,560,681 | 17,314,728 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 145,244 | 142,145 |
| 繰延ヘッジ損益 | 466 | 1,065 |
| 為替換算調整勘定 | 18,923 | 1,367 |
| その他の包括利益累計額合計 | 164,634 | 141,843 |
| 純資産合計 | 16,725,315 | 17,456,572 |
| 負債純資産合計 | 25,085,914 | 25,516,673 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 20,991,775 | 21,881,678 |
| 売上原価 | 17,584,436 | 18,284,751 |
| 売上総利益 | 3,407,338 | 3,596,927 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,525,740 | 2,603,531 |
| 営業利益 | 881,598 | 993,395 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 292 | 271 |
| 受取配当金 | 3,511 | 28,877 |
| 仕入割引 | 61,580 | 62,520 |
| その他 | 20,672 | 14,627 |
| 営業外収益合計 | 86,056 | 106,296 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,850 | 3,054 |
| 売上割引 | 71,953 | 79,223 |
| 為替差損 | 22,536 | 27,871 |
| その他 | 1,741 | 1,458 |
| 営業外費用合計 | 99,082 | 111,608 |
| 経常利益 | 868,572 | 988,083 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 355,784 |
| 固定資産売却益 | 1,066 | - |
| 特別利益合計 | 1,066 | 355,784 |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | 3,645 | 402 |
| 固定資産除売却損 | - | 0 |
| 特別損失合計 | 3,645 | 402 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 865,994 | 1,343,464 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 254,626 | 422,034 |
| 法人税等調整額 | 27,138 | 3,469 |
| 法人税等合計 | 281,764 | 418,565 |
| 四半期純利益 | 584,229 | 924,899 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 584,229 | 924,899 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 584,229 | 924,899 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 84,275 | 3,098 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1,596 | 599 |
| 為替換算調整勘定 | 32,408 | 20,291 |
| その他の包括利益合計 | 53,463 | 22,790 |
| 四半期包括利益 | 637,693 | 902,109 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 637,693 | 902,109 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 865,994 | 1,343,464 |
| 減価償却費 | 76,007 | 85,872 |
| 長期前払費用償却額 | 1,132 | 1,575 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 2,095 | 2,801 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 20,572 | 14,146 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | 21,677 | 5,736 |
| 受取利息及び受取配当金 | 3,804 | 29,148 |
| 支払利息 | 2,850 | 3,054 |
| 為替差損益(は益) | 4,625 | 2,907 |
| 有形固定資産売却益 | 1,066 | - |
| 有形固定資産除売却損 | - | 0 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 289,892 | 124,333 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 46,689 | 285,915 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 33,843 | 295,383 |
| 未収消費税等の増減額(は増加) | 50,548 | 11,971 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 9,992 | 6,917 |
| 投資有価証券売却損益(は益) | - | 355,784 |
| その他 | 80,742 | 23,037 |
| 小計 | 1,121,283 | 1,165,904 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,699 | 29,042 |
| 利息の支払額 | 2,850 | 3,054 |
| 法人税等の支払額 | 361,426 | 367,242 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 760,706 | 824,650 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 59,000 | - |
| 定期預金の払戻による収入 | 100,000 | - |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 431,599 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 454,416 | 168,067 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 51,852 | - |
| 無形固定資産の取得による支出 | - | 398 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,188 | 800 |
| その他 | 843 | 19,333 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 359,532 | 283,267 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 56,287 | 128,649 |
| リース債務の返済による支出 | 31,575 | 34,839 |
| 長期借入れによる収入 | 200,000 | 120,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 191,504 | 204,772 |
| 配当金の支払額 | 165,696 | 170,717 |
| 自己株式の取得による支出 | 23 | 135 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 132,511 | 161,814 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 6,317 | 9,249 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 262,344 | 936,854 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,972,475 | 4,851,391 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 145,269 | - |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,380,089 | 5,788,245 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 受取手形裏書譲渡高

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-----------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形裏書譲渡高 | 272,000千円 | 234,659千円 |

2. 保証債務

次の関係会社について取引先からの仕入債務に対し、債務保証を行っております。

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|--------------|-------------------------|---------------------------------------|
| SPKヨーロッパB.V. | 24,290千円 (EUR192千) | SPKヨーロッパB.V. 22,374千円 (EUR187千) |
| 計 | 24,290千円 | 計 22,374千円 |

3. たな卸資産の内訳

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|----------|-------------------------|------------------------------|
| 商品及び製品 | 4,848,514千円 | 4,532,469千円 |
| 仕掛品 | 12,738 | 19,329 |
| 原材料及び貯蔵品 | 68,795 | 71,660 |

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|----------|---|---|
| 給与手当 | 892,390千円 | 888,058千円 |
| 荷造運搬費 | 362,605 | 391,793 |
| 賞与引当金繰入額 | 189,228 | 224,098 |
| 減価償却費 | 56,949 | 66,505 |
| 退職給付費用 | 43,867 | 44,776 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 4,579,223千円 | 5,887,387千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 199,133 | 99,141 |
| 現金及び現金同等物 | 4,380,089 | 5,788,245 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年4月26日 取締役会 | 普通株式 | 165,696 | 33 | 2018年3月31日 | 2018年5月31日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年10月25日 取締役会 | 普通株式 | 165,696 | 33 | 2018年9月30日 | 2018年12月3日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| （決議） | 株式の種類 | 配当金の総額 （千円） | 1株当たり配 当額（円） | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年4月26日 取締役会 | 普通株式 | 170,717 | 34 | 2019年3月31日 | 2019年5月29日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| （決議） | 株式の種類 | 配当金の総額 （千円） | 1株当たり配 当額（円） | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年10月25日 取締役会 | 普通株式 | 170,715 | 34 | 2019年9月30日 | 2019年12月2日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 国内営業本部 | 海外営業本部 | 工機営業本部 | 合計 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,964,216 | 6,365,204 | 2,662,354 | 20,991,775 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 77,328 | 53,110 | - | 130,438 |
| 計 | 12,041,544 | 6,418,315 | 2,662,354 | 21,122,214 |
| セグメント利益 | 499,521 | 76,130 | 163,822 | 739,474 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 739,474 |
| 一般管理費の調整額（1） | 46,477 |
| 全社営業外収益（2） | 60,044 |
| 営業外費用の調整額（3） | 22,576 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 868,572 |

（1）、（3）は各営業本部が負担する一般管理費及び営業外費用の配賦差異であります。

（2）は主に報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 国内営業本部 | 海外営業本部 | 工機営業本部 | 合計 |
|-------------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,787,160 | 6,598,245 | 2,496,272 | 21,881,678 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 29,260 | 50,003 | - | 79,263 |
| 計 | 12,816,420 | 6,648,248 | 2,496,272 | 21,960,942 |
| セグメント利益 | 568,108 | 102,728 | 168,861 | 839,698 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 839,698 |
| 一般管理費の調整額（1） | 46,014 |
| 全社営業外収益（2） | 98,428 |
| 営業外費用の調整額（3） | 3,942 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 988,083 |

（1）、（3）は各営業本部が負担する一般管理費及び営業外費用の配賦差異であります。

（2）は主に報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日） |
|---------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益 | 116円35銭 | 184円20銭 |
| （算定上の基礎） | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益（千円） | 584,229 | 924,899 |
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | - | - |
| 普通株式に係る 親会社株主に帰属する四半期純利益（千円） | 584,229 | 924,899 |
| 普通株式の期中平均株式数（千株） | 5,021 | 5,021 |

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

2019年10月25日開催の取締役会において、第149期事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

（イ）中間配当金の総額・・・・・・・・・・170,715千円

（ロ）1株当たりの金額・・・・・・・・・・34円

（ハ）支払請求の効力発生日および支払開始日・・・2019年12月2日

（注）2019年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

S P K株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松村 豊 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林 雅史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているS P K株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、S P K株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。